



御館中通信

郡山市立御館中学校 学校だより No.29

令和5年9月11日 発行責任者 校長 芳賀 実

<教育目標>「夢」

<重点目標>「夢を持ち、その実現のために根気強く学び合い、支え合い、磨き合う生徒の育成」

二百二十日…立春から数えて220日

今日9月11日は立春から数えてちょうど220日。昔から「二百二十日」は、台風の影響を受けやすい厄日として警戒されてきました。先日も台風13号から変わった熱帯低気圧による大雨が、いわき市を始め各地に甚大な被害をもたらしました。被害を最小限に抑える備えや、万が一の時は早めに避難することも大切だと思いました。

さて、9月も中旬に入りました。16日（土）は柳橋歌舞伎のリハーサル、17日（日）には柳橋歌舞伎定期公演が開催されます。生徒たちは御館中と地域の伝統文化を継承するという強い気持ちをもって、練習に励んでいます。

定期テスト迫る

13日（水）・14日（木）に定期テストⅡを実施します。今回は5教科の他、技能教科もありますので、計画的に学習を進めることが大切です。



9月8日に行った「質問学習」の様子です。



見方を変えると・・・

私たちの身のまわりには、見る角度や別のものを通して見たときに違うものに見えるということがあります。例えば『だまし絵』。1年生の国語の教科書に「ちょっと立ち止まって」という教材がありますが、その中に見方によって老婆にも若い女の人にも見える絵や、ルビンの壺と呼ばれるだまし絵などが登場します。また、『変身立体』は、鏡に映すと姿が変わるなどおもしろいものがたくさんあります。

かつてある新聞に17歳の女子のこんな相談が載っていました。『自分は声が小さく、口下手なのが悩みです。小さい頃から内気で、人見知りするタイプ。仲のいい友だちや家族とはよく話すが、集団の中では気後れし、うまく自分の意見が言えません。』

それに対する回答者のこたえは、『内気で声が小さく、人見知りで口下手。これは長所です。あなたのような人は貴重です。卑屈になることはありません。（中略）話し上手になるには勉強することです。学問もそうですが、社会常識や人との交際、礼儀作法などあらゆることを学んでください。』という内容でした。

短所と思われることは見方を変えれば長所です。また、「失敗は成功の母」「挫折や負けることは、次に成長するために神様が与えてくれた贈り物」です。ぜひお子さんにプラスの言葉かけと、いいところを見つけほめて励ましてください。